

2024年度定時総会

2024年度定時総会 付議書兼参考書類

2025年6月28日（土）

一般社団法人 全日本鹿協会

(2024 年度) 定時総会次第

挨拶：一般社団法人 全日本鹿協会理事長 橋爪秀一

議事録署名人の指名：

目的事項：

報告事項

第 1 号報告 2024 年度(第 2 期)事業報告に関する件

第 2 号報告 2025 年度(第 3 期)事業計画に関する件

第 3 号報告 2025 年度(第 3 期)収支予算に関する件

決議事項

第 1 号議案 2024 年度(第 2 期)決算報告及び監査報告の承認に関する件

第 2 号議案 役員に関する件

(1) 理事及び監事選任の件

(2) 役員報酬の決定の件

第 3 号議案 経費の賦課及び徴収に関する件

報告事項

第1号報告 2024年度(第2期)事業報告に関する件

自2024年4月1日 至 2025年3月31日

1. 活動報告

1) 鹿及び鹿の資源的活用に関する調査研究、情報の収集及び提供

- ①全国シカ資源開発利用協議会を設立して、シカの資源活用のためのネットワークを形成し、農水省助成金に応募し採択され、資源活用を推進しました(活動内容の詳細については、協会HPをご覧ください)。
- ②国産ロクジョウの生産、販売体制確立をロクジョウ研究会と提携して追求しました。
- ③鹿ニュースを月3回定期的に会員へ配信しました。
- ④ホームページ・フェイスブックの更新を行いました。

2) 鹿の棲める森づくり活動

富士山西麓において、合同会社森のたねなどと協働して実施しました。

3) 鹿に関するシンポジウム、講演会、講習会及び海外研修の開催

- ①国産シカ革を使った作家による製品の展示を行いました。
- ②シンポジウム(「ジビエペットフード」6月、「弥生時代・古墳時代の鹿と人間」12月)を開催しました。
- ③ワークショップ(解体、なめし、革クラフト)を東京において3回連続(5月、9月、10月)で実施しました。
- ④「アスリートに鹿肉を」プロジェクトを推進し、サッカーチーム：ジュビロ磐田、YS横浜に対し鹿肉を試供し、普及啓発を推進しました。ジュビロ磐田については、(株)ふもとつばらがスポンサーとなり、月1回選手に対して鹿肉を提供し鹿料理を食べてもらいました。
- ⑤海外研修の再開を探り、韓国養鹿協会と連絡を取りました。

4) 鹿による地域活性化のための関係団体との連携活動

農水省コンソーシアム事業として鹿関係団体と全国シカ資源開発利用協議会を設立し、事務局として活動を主導、支援しました。

5) 鹿に関する国際交流

- ①オンラインによる台湾養鹿協会との交流事業を5月11日に実施しました。
- ②韓国養鹿協会と今後の交流について連絡を取り合っています。

6) 機関誌等の刊行

- ①日本鹿研究第15号を発行しました。
- ②シカ皮鞣しマニュアルの改訂をしました。

2. 総会・理事会の開催

総会を6月に開催し、理事会を4回、評議会を1回開催しました。

3. 組織整備

- 1) 事務局会議の定期的な開催(オンライン会議も含め)を行いました。
- 2) 事業担当制による各理事・事務局員の責任分担制を推進しました。
- 3) 農水省助成金を獲得して財政体制強化を行いました。

第2号報告 2025年度(第3期)事業計画に関する件

自2025年4月1日 至2026年3月31日

1. 活動計画

1) 鹿及び鹿の資源的活用に関する調査研究、情報の収集及び提供

- ①全国シカ資源開発利用協議会などのシカ資源活用ネットワークによって、鹿の資源活用を推進します。
- ②国産ロクジョウに関する研究を東京科学大学と、また生産・販売体制確立に向けロクジョウ研究会などと提携して実施します。
- ③鹿害対策に関し、他団体と連携して実施します。
- ④鹿ニュースを月3回定期的に会員へ配信します。
- ⑤ホームページ・フェイスブックの更新を行います。

2) 鹿の棲める森づくり活動

富士山西麓において、合同会社森のたね、(株)ふもとっぱらなどと協働して実施します。

3) 鹿に関するシンポジウム、講演会、講習会及び研修の開催

- ①国産シカ革を使った作家による製品の展示を行います。
- ②シンポジウム(「キョンについて」6月)を開催します。
- ③ワークショップ(なめし、革クラフト、料理教室など)を各地で実施します。
- ④研修旅行として、諏訪大社と鹿をめぐる研修(11月)の実施と海外研修の再開を探ります。

4) 鹿による地域活性化のための関係団体との連携活動

全国シカ資源開発利用協議会などと、事務局として活動を主導、支援します。

5) 鹿に関する国際交流

オンラインを含め各国養鹿協会との交流事業を実施します。

6) 機関誌等の刊行

- ①日本鹿研究第16号を発行します。
- ②養鹿マニュアルの改訂を追求します。

2. 総会・理事会の開催

総会を6月に開催し、理事会・評議会を定期的に開催します。

3. 組織整備

- 1) 事務局会議の定期的な開催(オンライン会議も含め)を行います。
- 2) 事業担当制による各理事・事務局員の責任分担制を推進します。
- 3) 助成金を獲得して財政体制強化を追求します。

第3号報告 2025年(第3期)収支予算に関する件

I 一般会計

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

収入の部

(単位：円)

科目	2025年度予算額	2024年度実績	予算—実績	備考
I 入会金	0	0	0	
1 団体会員	0	0	0	
2 個人会員	0	0	0	
II 会費	887,400	892,000	-4600	
1 団体会員	450,000	450,000	0	50,000円×9口
2 個人会員	345,600	348,000	-2400	6,000円×64人×90%
3 賛助会員	81,000	84,000	-3000	3,000円×30人×90%
4 学生会員	10,800	10,000	800	1,000円×12人×90%
III 事業収入	200,000	196,500	3500	イベント参加費、売上等
IV 雑収入	20,000	22,330	-2330	
V 寄付金	750,000	766,581	-16581	
当期収入合計	1,837,400	1,877,411	-40011	

支出の部

I 一般管理費	324,000	350,761	-26761	
1 人件費	240,000	240,000	0	事務局
2 事務費	54,000	79,409	-25409	
(1) 事務所賃貸料	0	0	0	
(2) 事務消耗品費	1,000	682	318	
(3) 通信運搬費	25,000	55,717	-30717	会誌送料など
(4) 旅費交通費	18,000	11,380	6620	スタッフ旅費
(5) 雑費	10,000	11,630	-1630	振込手数料他
3 会議費	30,000	31,352	-1352	
II 事業費	1,511,876	950,803	561073	
1 組織強化費	420,000	516,600	-96600	
(1) 印刷費	220,000	302,800	-82800	鹿研究16号他
(2) 原稿料	150,000	164,000	-14000	鹿研究16号、鹿ニュース
(3) 広報宣伝費	50,000	49,800	200	チラシ、HP関連費
2 専門部会費	1,091,876	434,203	657673	
(1) 専門委員会	670,000	0	670000	ロクジョウ研究など
(2) 普及部会費	300,000	434,203	-134203	シンポ、ワークショップ、シカ展など
(3) コンソーシアム分担金	121,876	0	121876	
管理費・事業費合計	1,835,876	1,301,564	534312	
III 創業費	0	11,256	-11256	
当期支出合計	1,835,876	1,312,820	523056	
当期正味財産増減額	1,524	564,591	-563067	
当期正味財産期首額	564,591	0	564591	
正味財産期末残高	566,115	564,591	1524	

決議事項

第1号議案 2024年度(第2期)決算報告及び監査報告の承認に関する件

I 一般会計
収入の部

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

(単位:円)

科目	2024年度予算額	2024年度実績	予算—実績	備考
I 入会金	0	0	0	
1 団体会員	0	0	0	
2 個人会員	0	0	0	
II 会費	795,000	892,000	-97,000	
1 団体会員	400,000	450,000	-50,000	50,000円×9口
2 個人会員	324,000	348,000	-24,000	6,000円×58口
3 賛助会員	66,000	84,000	-18,000	3,000円×28人
4 学生会員	5,000	10,000	-5,000	1,000円×10人
III 事業収入	300,000	196,500	103,500	イベント参加費、売上等
IV 雑収入	0	22,330	-22,330	
V 寄付金	766,581	766,581	0	
当期収入合計	1,861,581	1,877,411	-15,830	

支出の部

I 一般管理費	200,000	350,761	-150,761	
1 人件費	120,000	240,000	-120,000	事務局
2 事務費	65,000	79,409	-14,409	
(1) 事務所賃貸料	0	0	0	
(2) 事務消耗品費	5,000	682	4,318	
(3) 通信運搬費	20,000	55,717	-35,717	会誌送料など
(4) 旅費交通費	30,000	11,380	18,620	スタッフ旅費
(5) 雑費	10,000	11,630	-1,630	振込手数料他
3 会議費	15,000	31,352	-16,352	
II 事業費	980,000	950,803	29,197	
1 組織強化費	480,000	516,600	-36,600	
(1) 印刷費	200,000	302,800	-102,800	鹿研究15号, 躰しマニュアル
(2) 原稿料	200,000	164,000	36,000	鹿研究15号, 鹿ニュース
(3) 広報宣伝費	80,000	49,800	30,200	チラシ、HP関連費
2 専門部会費	500,000	434,203	65,797	
(1) 専門委員会	200,000	0	200,000	
(2) 普及部会費	300,000	434,203	-134,203	ワークショップ、シンポ、シカ展など
3 租税公課	0	0	0	
管理費・事業費合計	1,180,000	1,301,564	-121,564	
III 創業費	0	11,256	-11,256	法人化経費
当期支出合計	1,180,000	1,312,820	-132,820	
当期正味財産増減額	681,581	564,591	116,990	
当期正味財産期首額	0	0	0	
正味財産期末残高	681,581	564,591	116,990	

貸借対照表

2025年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	金額	負債・正味財産の部	金額
現金	19,342	負債の部	1,000
預金	546,249	立替金	1,000
		正味財産の部	564,591
		当期正味財産期首額	0
		当期正味財産増減額	564,591
合計	565,591	合計	565,591

2025年5月26日

一般社団法人全日本鹿協会

理事長 橋爪秀一 殿

一般社団法人 全日本鹿協会

監事 小川 範子 

監事 黒田 貴綱 

監事 齊藤 晃顕 

監 査 報 告 書

私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度（第2期）における会計及び業務の監査を実施したので、その結果を次のとおり報告します。

会計について、帳簿、預金通帳等の関係書類により監査を行った結果、いずれも正確に記帳並びに処理されているものと認めます。

業務について、事業報告書等の関係書類により監査を行った結果、事業計画に基づき適正に運営され、その執行は妥当であると認めます。

以上

第2号議案 役員に関する件

(1) 理事及び監事選任の件

定款第24条(役員を選任)及び第27条(役員の任期)に基づく任期満了のため、理事ならびに監事の改選を次のとおり提案します。

以下の現役員全員の再任をお願いするものです。

2025年度(第3期) 理事・監事候補 自2025年6月総会 至2027年6月総会

	氏名	所属団体・役職名	前期の実績と今期の抱負
理事	石井陽子	鹿写真家	前年度は「弥生・古墳時代のシカと人のかかわり」シンポジウムの運営を担当しました。今年度は、「諏訪文化とシカのかかわり」研修旅行を企画しております。アーティスト視点で、シカと人間の共生や、自然と人間の関係について多角的に考えながら、鹿研究や鹿をめぐる現状についての普及啓発活動に貢献したいと思っております。
理事	石田光晴	宮城大学名誉教授	これまで約40年に渡って、日本鹿肉・鹿乳・鹿茸の成分分析および飼育研究に携わってきました。これからも日本鹿の生育と利用に関する活動に協力していきたいと思っています。
理事	井戸直樹	森のたね代表	富士山麓での森林整備活動や、鹿皮なめし体験などの普及啓発活動に取り組みました。今後も、鹿と人のかかわり方を実践しながら、森づくり、林業、狩猟、縄文、環境教育などの視点で貢献したいと思っております。
理事	小笠原永隆	帝京大学経済学部教授	前期はシンポジウムの企画・運営協力を行いました。私は日本考古学の中でも特に縄文時代について勉強しておりますので、今期は縄文人と鹿のかかわりの観点から、現在の鹿問題を考えていきたいと思っております。何卒よろしくお願いたします。
理事	押田敏雄	麻布大学名誉教授	前期はシンポジウムの企画、運営に関与しました。協会でなければ出来ないことを身の丈を考えながら取組たいです。雑誌の年2回の発行、他の集団との協力、情報交換の促進をしたいと考えています。
理事	黒崎弘平	日本大学職員	コンソーシアム事業の一環で富士川楽座における普及啓発活動を担当・実施しました。シカ活用のための啓蒙普及活動に尽力します(新しい活動の提案等も含む)。
理事	小林信一	静岡県立農林環境専門職業大学名誉教授	協会の活動と農水省助成事業の推進・とりまとめを担当・実施しました。今期も事務局体制の強化、後継者作り、専門委員会の活発化を推進したいと考えています。
理事	橋爪秀一	元(株)森永生科学研究所社長	会員数を三桁に近づけることができました。農水省との事業により、高校生への出前授業を達成しました。今後は、更に活動を活性化し、特に若い会員数の増加を目指します。ロクジョウ等の機能性評価を目指します。
理事	米村洋一	(公財) コカ・コーラ教育・環境財団評議員	コンソーシアム事業の一環で富士川楽座における普及啓発活動を担当・実施しました。農水省、環境省など国や鹿被害防止に関心の高い自治体とも連携し、地方自治体プロジェクトなどの収益事業を活発化し、財務状況を強化したいと考えています。

監事	小川節子		
監事	黒田貴綱	日本大学技手	
監事	齋藤照雄	地域交流センター理事	

- (2) 役員報酬の決定の件
役員(理事・監事)報酬は、無報酬とします。

第3号議案 経費の賦課及び徴収に関する件

2025年度の入会金並びに会費および賛助・学生会費の額と徴収方法について

- (1) 入会金 徴収しない。
- (2) 年会費
- | | | |
|----------|--------|----------|
| (1) 正会費 | 個人 | 6,000 円 |
| | 団体(1口) | 50,000 円 |
| (2) 賛助会費 | | 3,000 円 |
| (3) 学生会員 | | 1,000 円 |

会費等の納入は、2025年7月末日までといたします。